

## C I S P Rにおける最近の審議状況

### 6 H小委員会（無線業務保護のための妨害波に関する規格を策定）

#### (1) 共通エミッション規格（IEC 61000-6-3：住宅、商業及び軽工業環境並びにIEC 61000-6-4：工業環境）の改定

両規格の対象範囲となる環境区分の定義や他の製品規格における製品のクラス分類との対応、6面電波暗室（FAR）試験における筐体ポート妨害波の許容値及び測定法などについて審議が行われている。

#### (2) 干渉モデルと妨害波許容値の技術レポート（CISPR/TR 16-4-4）の改定

30 MHz以下における放射妨害波の許容値設定モデルについて審議が行われている。

（※）本文書は、無線保護のための許容値の導出の根拠（考え方）を示した技術文書であり、これを参照することにより、各製品委員会は共通の根拠に立脚した許容値を定めることが可能となる。

#### (3) 太陽光発電システム及び照明用超低電圧屋内設備からの放射モデルの検討

太陽光発電用GCPCからの妨害波放射モデルの検討をしているアドホックグループの検討事項に、照明用超低電圧屋内配線からの妨害波放射モデルが追加され、審議が行われている。

## CISPRストレージ会議対処方針

2015年のCISPR会議は、9月21日から10月1日までの11日間にわたり、イタリアのストレージで開催される。日本からは、総務省、国立研究開発法人情報通信研究機構、各大学、各試験機関、各工業会等から〇名が参加予定である。

総会及び各小委員会等の会議において審議等が行われるが、それらの会議における我が国の対応を以下に記す。

### 3 各小委員会の個別対処方針

#### (4) H小委員会

##### ア 共通エミッション規格（IEC 61000-6-3：住宅、商業及び軽工業環境並びにIEC 61000-6-4：工業環境）の改定

床置機器及び卓上機器におけるFAR試験について、従来から我が国が主張してきた偏波別許容値がCDに情動的Annexとして採用されていることから、これを支持する。また、両規格を適用する環境の分類については、現行規格のとおりとすることを支持する。

##### イ 干渉モデルと妨害波許容値の技術レポート（CISPR/TR 16-4-4）の改定

30 MHz以下における放射妨害波の許容値設定モデルにおいて提案されている一部の確率要素の根拠を確認する。

##### ウ 太陽光発電システム及び照明用超低電圧屋内設備からの放射モデルの検討

太陽光発電用GCPCに関する審議（B小委員会）及び超低電圧照明装置に関する審議（F小委員会）に対して我が国から提出した意見との整合性に留意しつつ対処する。